

コウシュンモダマ

じゅんげつめつきく
準絶滅危惧

か めい
科名 マメ

べつ めい
別名

がくめい
学名 Entada phaseoloides



く ぶん
区 分 もくほんるい
木本類

ぶん ぶん
分 布 かごしま やくしま おきなわ
鹿児島 (屋久島) ~沖縄、
アジア・アフリカの熱帯・亜熱帯地域

は かたち
葉 の 形 ちょうだえんけい らんけい
長楕円形、さかさ卵形

は ぶち
葉 の 縁 ぜんえん
全縁

は さき
葉 の 先 えいけい どんけい
鋭形、鈍形

は しゅるい
葉 の 種類 ぐうすうじょうふくよう
偶数羽状複葉

は つきかた
葉 の 付方 ごせい
互生

は き ぶ
葉 の 基部

み しゅるい
実 の 種類 とうか
豆果

は な がくいろ
花 ・ 萼 色 きみどりいろ
黄緑色

せつ せい
説 明 おおがた せい じょうりよくもくほん かいがんちかく じょうりよくじゅりんない は おお みま けい
大型のつる性の常緑木本で海岸近くの常緑樹林内に生えます。大きなものは幹の径30
cmにも達します。葉は互生し、偶数羽状複葉で2枚、4枚または6枚の小葉を対生につけ
ます。花は穂状花序で長さ約12-25 cm、たくさんの花をつけます。実(豆果)は大きく、長
さ80-120 cm、幅7-12 cmにもなり、9個から13個の種子を入れてあります。